

コンチネンスケア ニュースレター

医療従事者向け

Ostomy Care / Continence Care / Wound & Skin Care / Interventional Urology



患者さんが「安全な場所」を決められるよう手助けする

患者さんに間欠自己導尿（ISC）の方針を遵守させるうえで重要な要素の1つは、ISCを日々の習慣にどう取り入れるか理解してもらうことです。病院という守られた環境から、あまり体系化されていない、「安全」ではない外部環境への移行を導くことが重要です。

安全な場所へ

多くの患者さんは病院から自宅への移行を不安に思います。この不安に対処する方法として、患者さんが「安全な場所」を決められるよう手助けすることができます¹。自宅の内外を問わず、「安全な場所」とは以下のような場所を言います。

- | | |
|------------------|--|
| 清潔である | カテーテルを挿入するための清潔な環境をどこで探すか、またはどう作り出すかを知る必要があります。 |
| プライベートな空間 | カテーテル挿入時にはプライバシーが必要です。それによって、患者さんは尊厳やコントロール感を保てます。 |
| 利用しやすい | 導尿が必要なタイミングで行ける範囲内の場所が必要です。これは移動や体勢のニーズにも合致していなければなりません。 |

患者さんが自宅から遠い場所でISCに適した場所を見つけられるか心配しているなら、GPSや携帯のアプリを使って公衆トイレや多目的トイレを探す方法を教えることで、安心感とコントロール感を持たせることができます。

¹ Coloplast_Market_Study_ReD Associates Study_2007_Data-on-file (VV-0206734)

ご存知ですか？

自宅から遠い場所で ISC をするのは難しく、

ISC ユーザーの 10 人に **3** 人は、外出先では自宅と異なる ISC の手順を取っています。

これらの 10 人に **3** 人は、自宅以外のトイレでは構造的に、ISC の通常の手順を行うのが難しいと回答しています。

10 人に **2** 人は、ISC のルーチンを普段通りに終えるために必要な場所がないと回答しています²。

¹ Coloplast_Market_Study_IC Research_2015_Data-on-file (VV-0206732)